



(題字は初代学長 山田守英氏)

第 171 号

平成 30 年 5 月 31 日

編集 旭川医科大学
発行 教務部学生支援課



「またあした」

(写真撮影：医学科第 1 学年 工藤 天裕)

平成29年度学位記授与式 学長挨拶 ……学長 吉田 晃敏……2	卒業にあたって ……看護学科第19期卒業生 宮澤 あゆみ……19
卒業にあたって ……医学科第40期卒業生 華岡 万貴……12	卒業にあたって ……看護学科第19期卒業生 吉田 咲妃……20
卒業にあたって ……医学科第40期卒業生 林 望美……13	平成29年度 学位記授与式 ……21
卒業にあたって ……医学科第40期卒業生 フェアウェザー未央 ジューン……14	旭川医科大学基金NEWS ……23
卒業にあたって ……医学科第40期卒業生 山田 一紀……15	サークル紹介の1分間ミニ番組について……24
卒業にあたって ……看護学科第19期卒業生 鹿取 昂平……16	卒業目前！先輩看護師と行う「看護技術学習会」を実施…25
卒業して ……看護学科第19期卒業生 星 一輝……17	平成29年度 保健師卒業セミナー開催……26
赤いお守り ……看護学科第19期卒業生 堀川 ふみえ……18	平成29年度 助産師セミナー開催……27
	卒業生の動向(医学科) ……28
	卒業生の動向(看護学科) ……29
	飲酒事故の防止について ……30
	教員の異動 ……30
	今後のスケジュール ……31
	第171号表紙……31



平成29年度 学位記授与式 学 長 挨拶

旭川医科大学 学長 吉田 晃 敏

医学科第四十期生99名の皆さん、並びに看護学科第十九期生54名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

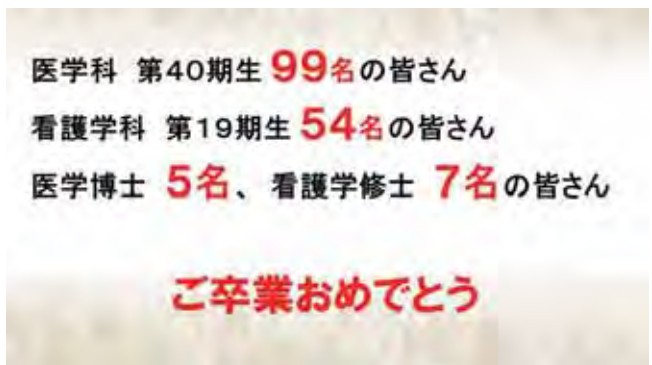
皆さんを今日まで育てて来られたご家族の皆様のご感慨もひとしおと思ひ、重ねてお祝いを申し上げます。学年担任を始め教職に当たられた先生方、そして学生諸君といつも接してきた事務職員の方々も本当にお疲れ様でした。

また、看護学修士の学位を取得された7名の皆さん、医学博士の学位を取得された5名の皆さん、心からお祝いを申し上げます。共同研究者と苦勞を共にした努力と、その結果

生まれた皆さんの優れた研究業績に対し、深く敬意を表します。

皆さんがこの誇りある学位を次の大きなステップにつなぎ世界に発信する、より高いレベルの医療人・研究者へと成長することを強く期待しております。

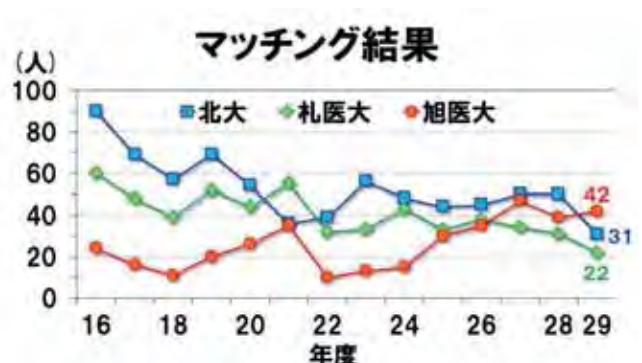
学位記授与式では、昨年度に続き、今年度も「卒業生へ贈る最終講義」と題して、卒業生の6年間、5年間、4年間を振り返り、併せて修士・博士の学位を取得された皆さんに対して、私の最終講義を行いました。本稿ではその講義スライドを示します。



第112回 医師国家試験 新卒者の合格率

旭川医大	97.0 %	全国: 20位(国立: 7位)
札医大	93.6 %	全国: 51位
北大	89.5 %	全国: 70位(国立: 42位)

皆さん、本当に頑張ってくれてありがとう



本学の卒業生は、

医学科 **4,130名**

看護学科 **1,255名**

合計 **5,385名**

博士 **997名**

修士 **192名**

合計 **1,189名**

年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
1年生	[Image]					
2年生	[Image]					
3年生	[Image]					
4年生	[Image]					
5年生	[Image]					
6年生	[Image]					
医学科	[Image]					
看護学科	[Image]					
大学	[Image]					
社会	[Image]					

年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
1年生	[Image]					
2年生	[Image]					
3年生	[Image]					
4年生	[Image]					
5年生	[Image]					
6年生	[Image]					
医学科	[Image]					
看護学科	[Image]					
大学	[Image]					
社会	[Image]					



年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
1年生	[Image]					
2年生	[Image]					
3年生	[Image]					
4年生	[Image]					
5年生	[Image]					
6年生	[Image]					
医学科	[Image]					
看護学科	[Image]					
大学	[Image]					
社会	[Image]					



年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
1年生	[Image]					
2年生	[Image]					
3年生	[Image]					
4年生	[Image]					
5年生	[Image]					
6年生	[Image]					
医学科	[Image]					
看護学科	[Image]					
大学	[Image]					
社会	[Image]					



中国からの書簡

吉田先生：
.....
当方、中国の“第十二回、五か年計画”に
遠隔医療計画を入れ、
「吉田式の遠隔医療」を取り入れることを
政府で決めました
.....
中国衛生部



年度	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017
医学部	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
看護学部			1年生	2年生	3年生	4年生
大学	日銀 白川 前総裁と会談					
社会						



年度	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017
医学部	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
看護学部			1年生	2年生	3年生	4年生
大学	講義実習棟 リニューアル					
社会						





年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
医学科	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
看護学科			1年生	2年生	3年生	4年生
大学	開学40周年記念式典					
社会						

旭川医科大学
開学40周年記念式典 (2013年11月5日)



- ・記念講演会
- ・記念式典
- ・記念祝賀会

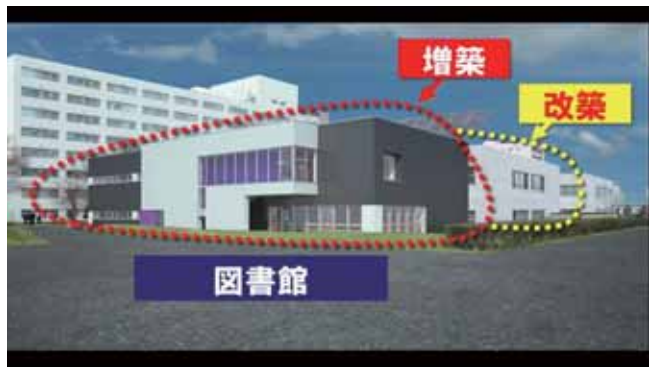


年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
医学科	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
看護学科			1年生	2年生	3年生	4年生
大学	消費税 5% → 8%					
社会						

年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
医学科	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
看護学科			1年生	2年生	3年生	4年生
大学	入学式					
社会						



年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
医学科	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
看護学科			1年生	2年生	3年生	4年生
大学	図書館 増・改築					
社会						



年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
医学科	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
看護学科			1年生	2年生	3年生	4年生
大学	白衣式					
社会						



年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
医学科	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
看護学科			1年生	2年生	3年生	4年生
大学	様々な施設を リニューアル					
社会						



年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
医学科	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
看護学科			1年生	2年生	3年生	4年生
大学						
社会						





年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
1年生	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
2年生			1年生	2年生	3年生	4年生
3年生						
4年生						
5年生						
6年生						

北海道新幹線 開業



年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
1年生	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
2年生			1年生	2年生	3年生	4年生
3年生						
4年生						
5年生						
6年生						

熊本地震



1995年 兵庫県南部地震 (阪神・淡路大震災)

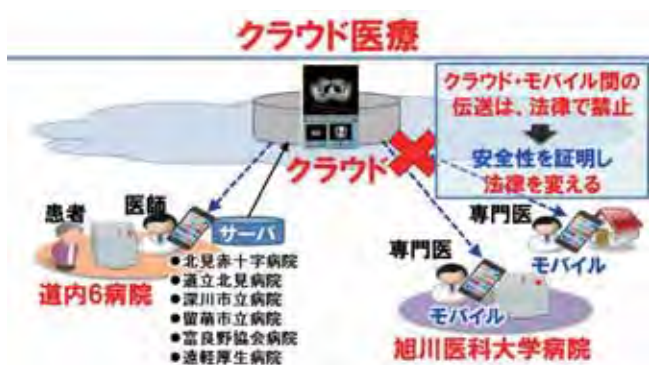
災害など通信要求が集中すると利用不能に

混雑時も重要な情報は優先したい

11年前、我々は既に、地震に対する医療情報保存の研究を完了していた(6億円)

年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
1年生	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
2年生			1年生	2年生	3年生	4年生
3年生						
4年生						
5年生						
6年生						

『クラウド医療』を開始



- ### クラウド医療は、
1. 人(患者・医師)を動かさず、情報を動かす
 2. 医師が偏在している世界の医療を救う
 3. 医療費を削減できる
 4. ビッグ データを 集める
 5. 日米国際遠隔医療、20周年の果実

この世界初の技術を発表したい

日米遠隔医療20周年にあたって

ボストン、ハーバード大学で(吉田)

「世界の中心: ニューヨークしかない」

(外務省 北米 第2課)



NHKは、これを全世界に**1日で9回**放映
NHK新記録
 このニュースは、この日、世界で**9位**
NHK新記録
 NHKによれば、毎年100位以内に入るのは
 1~2件とのこと

即座に、大きな 大きな反響が...



年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
1年生						
2年生						
3年生						
4年生						
5年生						
6年生						

医学部
 看護学部
 1年生 2年生 3年生 4年生

大学
**国立大学を代表して
 経産省の研究会に参画**

社会

経済産業省
 Ministry of Economy, Trade and Industry

**海外に日本の病院を作るための
 研究会**

開催概要

開催日時 12月17日(金) 13時~17時
 開催場所 経産省 国際会議場(東京都千代田区千代田)
 参加費 2,000円(税別)
 申込締切 12月13日

研究委員

氏名	所属	職名	研究分野
伊藤 隆夫	旭川医科大学	学長	遠隔医療
...

専長 両社	慶應義塾大学	名誉教授	相川 直樹
	伊藤忠商事株式会社	開発・調査部 開発戦略室 担当課長	井上 秀二
	双日株式会社	化学本部メディカル・ヘルスケア 事業推進室長	濱中 通隆
	豊田通商株式会社	食料・生活産業本部ヘルスケア 部長	渡辺 泰典
	丸紅株式会社	情報・物流・ヘルスケア本部 ヘルスケア・メディカル事業部長	小林 隆
	三井物産株式会社	ヘルスケア・サービス事業本部ヘルスケア事業部長	堀北 健一郎
	三菱商事株式会社	生活流通本部 ヘルスケア部北浦 部長	克俊

ゼネコン	清水建設株式会社	国際支店 営業部 部長	鈴木 正信
	大成建設株式会社	取締役常務執行役員 医療福 社営業本部長	吉成 泰
エンジニアリング	株式会社竹中工務店	医療福祉・教育本部 本部長	角 晴晴
	日揮株式会社	インフラ統括本部インフラプロジェクト本部 ヘルスケア事業部 部長	三原 真
その他	アイテック株式会社	代表取締役社長	関 丈太郎
	グリーンホスピタルサプライ株式会社	専務取締役 海外本部長	小林 空行
	セコム医療システム株式会社	常務取締役	長野 祐一

金融等	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	人間開発部 次長 兼 保健第 二グループ長	渡部 界三
	株式会社国際協力銀行 (JBIC)	産業ファイナンス部門 産業投資・貿易部 部長	橋山 重人
	株式会社産業革新機構 (DINC)	投資事業グループ ディレクター	真名 保平
	クールジャパン機構	専務執行役員	若井 英二
	株式会社三井住友銀行	成長産業クラスター 執行役員 ユニット長	工藤 祐子
	株式会社みずほ銀行	産業調査部 公共・社会インフラ 室長	川手 康司

医療関係者	公益社団法人日本医師会	副会長	寺村 勉
	一般社団法人日本病院会	副会長	相澤 孝夫
学長枠	公益社団法人日本看護協会	副会長	大久保 清子
	一般社団法人Medical Excellence JAPAN (MEJ)	業務執行理事	北野 直也
	慶應義塾大学病院	副病院長 医学部外科学 教授	北川 雄光
	順天堂大学	学長	新井 一
	旭川医科大学	学長	吉田晃敏
	大阪大学大学院	医学系研究科長	藤 芳樹
	筑波大学附属病院	病院長	松村 明
医療法人鉄衛会亀田総合病院	経営企画部長	真田 正博	



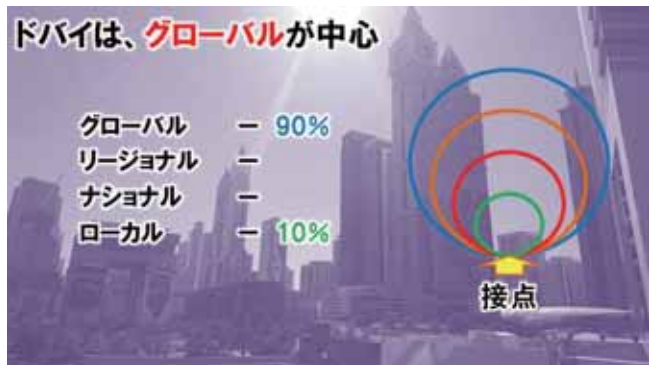
年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
医学部	[Image]					[Image]
看護学部	[Image]				[Image]	[Image]
大学	ロシアとの交流開始					[Image]
社会	[Image]					[Image]





年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
1年生						
2年生						
3年生						
4年生						
5年生						
6年生						
1年生						
2年生						
3年生						
4年生						

本学が、皆さんの6年間・4年間の夢の舞台
⇒ これからは世界が夢の舞台





**これからは、
私と君達は戦友だ**

Let's aim high!

**諸君の益々の活躍を、
期待する**

卒業、おめでとう

卒業にあたって

医学科第40期生 華岡万貴



卒業とは、一つの業を終えることである。(広辞苑より)

私の大学生活における業は、無論学業である。しかし、6年間の思い出をその一言で片付けるには少々言葉足らずであろう。旭川での日常を振り返ってみると、部活、ごはん、お酒、といったところだろうか。本当に遊ぶところが少ない街だと思う。しかし一人暮らしを始めたばかりの私にとって、近くに知り合いがたくさん住んでいるこの環境は、本当に温かいものであった。

学生生活を振り返ると、1、2年生の頃は次々に課される課題をただひたすらに乗り越えることで精一杯だった。ところが3、4年の頃、完全に"中だるみ"が来た。授業も座学ばかりだったせい、部活をしに、あるいは携帯をいじりに学校に通っていたようなものである。今思えば本当に先生方に失礼な学生だったと思う。この場を借りてお詫び申し上げたい。

後輩達へのアドバイスとしては、日々の生活に目的を持って生きて欲しいということだ。また、休みを有効活用して仲間とたくさん思い出を作って欲しい。私自身も旅行が好きでよく行っていたが、まだまだ行けたのではないかと悔やんでしまう。5、6年になるといよいよ学生生活に終わりが見えてくる。病院実習も始まり、色々な意味でそれまでの学生生活とは違う。6年=4年+2年といった感覚である。部活に関しては責任学年を終え、肩の荷が下りて気持ちは楽かもしれない。しかし、国試勉強への焦りがじわじわと募り始めるので、今まであまり勉強をしなかった人も5年生からは少し気を引き締めの方が身のためだと思う。当たり前だが、国家試験は1位だろうがビリだろうがパスさえすれば良い。合格ラインと自分の位置を冷静に見極めて、自分が納得できる勉強量があればそこそこ安定したメンタルで試験を受けられると思う。頑張ってください。

最後に、これまでお世話になった先生方、先輩、同期、後輩に心より御礼申し上げます。

卒業にあたって

医学科第40期卒業生 林 望 美



4月の吹雪に凍えた入学式から6年、いろいろなことがありました。春(初夏)には部活仲間で『お花見』という名のジンギスカンパーティーをし、夏の組織

学実習では汗だくになりながら顕微鏡を覗き、秋は前期試験のうちに過ぎ去り、冬の大雪には友人と一緒に雪かきをしたりと、四季のイベントはバラエティ豊かでした。定期試験やレポートの締め切りはいつの間にか迫ってきましたし、臨床実習では朝6時前に家を出て夜7時過ぎに帰宅ということもありました。どの場面でも仲間と励まし合いながら一つずつ課題を片付けて、終わったら打ち上げや旅行でまた次に備えるということの繰り返しでした。私は同期の存在なくしてこの6年間を乗り切ることはできなかったと思います。国家試験が終わった時、辛かった勉強がひと段落してホッとすると同時に、もう勉強会で集まることがないと思うと寂しい気持ちも湧いてきました。そう思える仲間に出会

えたことは幸せなことであり、いずれ医療の現場で共に働く日を想像すると楽しみになってきます。

旭川医科大学の構内にはエゾリスやキタキツネが出没します。夜、部活動の帰りに彼らに遭遇すると「北海道に住んでいてよかった」と思いました。本学では多くの学生が部活動に打ち込んでいます。私はブラスアンサンブル、ジャズ研究会、ボランティア部、基礎スキー部の4つの部活に所属していました。医大病院ロビーでのコンサート、ボランティアとして参加したそらぶちキッズキャンプ、樹氷や麓の美しい景色を堪能したスキー、どれもとても印象深いものでした。

6年間のたくさんの出来事背景には、ご指導いただいた先生方、職員の皆様、臨床実習で出会った患者様やご家族の方々、先輩、同輩、後輩、そして家族の存在があることを忘れず、これからの医療者としての日々を過ごしていこうと思います。最後までお目通しいただき、ありがとうございました。

卒業にあたって

医学科第40期卒業生 フェアウェザー未央ジューン



このたび第 112 回医師国家試験に合格し、医学部医学科を卒業するフェアウェザー未央ジューンと申します。拙い文章ではございますがお読みいただければ幸

いです。

6 年前の春、憧れていた大学生活への期待に加え、「ちゃんと勉強についていけるだろうか」という不安や「人間関係で失敗しちゃいけない」というプレッシャーを胸に抱いて入学したのを覚えています。

勉強面では大変なこともたくさんありました。試験があると友人たちと集まって一緒に勉強していました。集中力が切れて脱線してしまうこともしばしばありましたが、辛さも楽しさも共有できるのはみんなが同じ授業を受け同じ試験を受ける医学部ならではの良さだと思います。特に国家試験の勉強は今までになく辛かったのですが、同期の存在が本当に大きな力となりました。

部活動では Med-Edu というサークルで小中高生に対する健康教育を行っていました。医学

生という立場で何をどう伝えるのかを考え、何度も仲間たちと議論したことは私の大切な財産になっています。また、放送研究会という部活を友人と共に立ち上げ、大好きな映像制作やアナウンスを色々な場面でさせていただくことができました。どちらの部活でも大学の内外で素敵な出会いと学びがたくさんありました。勉強や部活を始めとするさまざまな経験を通して少しずつ自分の理想の医師像や進路を考えていくことができました。

6 年経ち、今度は医師として、そして一人の社会人として新たなスタートを切るにあたって、やはり同じように不安とプレッシャーを感じています。ですがそれ以上に、自分の夢を叶えられるという期待とより良い医師になるという決意を胸に抱けています。

最後に、どんなときも私を支えてくれた友人・家族・先輩や後輩、ご指導いただいた先生方にこの場を借りて感謝申し上げます。春からは恩返しのできぬつもりで気持ちを新たに頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

卒業にあたって

医学科第40期卒業生 山田 一紀



思い起こせば6年前。後期入試のため、北海道を訪れました。愛知県出身の私にとって雪国は初めてです。降下する飛行機の窓から見た広大な雪景色に思わず息を呑みました。その日からあつという間に月日は流れ、今まさに大学生活を終了しようとしています。

入学式。いきなり吹雪からのスタートでした。印象的な思い出は数多くあります。朝まで部活の仲間と騒いだり、旅行に行ったり、必死になって試験勉強をしたりと様々です。中でも特に印象に残っているのは部活をはじめとした課外活動です。私は CIK（地域医療を語る会）という一種のゼミや Med-Edu（メド・エデュ）という部活を中心として、IFMSA や育児院学習サポート、空手道部、水泳部などを掛け持ちする多忙な日々を過ごしていました。

入学式。いきなり吹雪からのスタートでした。印象的な思い出は数多くあります。朝まで部活の仲間と騒いだり、旅行に行ったり、必死になって試験勉強をしたりと様々です。中でも特に印象に残っているのは部活をはじめとした課外活動です。私は CIK（地域医療を語る会）という一種のゼミや Med-Edu（メド・エデュ）という部活を中心として、IFMSA や育児院学習サポート、空手道部、水泳部などを掛け持ちする多忙な日々を過ごしていました。

Med-Edu は道内の小中高生にタバコやドラッグ、性教育などの出前授業を行う団体です。対象に合わせて、よりわかりやすく内容を伝えるにはどうすれば良いのか、仲間たち

と切磋琢磨した経験は今後、医師として働く私を助けてくれるはずです。

また、CIK では講演会や地域医療実習、地域住民や医療者とよりよい地域実現を考える研究会などに参加しました。お世話になった先生、地域住民の方々とのつながりは CIK に参加したからこそ得ることができました。

これらの活動を通じ、ロールモデルとする医師と出会い、地域医療に対する想いも培うことができました。同じ志を持つ仲間と出会うことができたのも幸運なことでした。6年間で得たつながりを活かして、北海道の地域医療により深く関わることのできる医師を目指していきます。

卒業を間近に控えた今、最も実感していることは、自分ひとりの力ではこんなに充実した大学生活は不可能だったということです。先生方や友人、同級生に先輩や後輩、そして遠く北海道まで快く送り出してくれた家族の援助がなければ実現しませんでした。この場をお借りして、お世話になった皆さまに御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

卒業にあたって

看護学科第19期卒業生 鹿取 昂平



18年生活した沖縄を離れ、旭川医科大学に入学してから早4年。常に今を生きてきた私にとっては、とても短く、忙しい日々でした。

旭川医科大学医学部看護学科を受験した理由は、全国の大学の募集要項をまとめた冊子の一番最初に旭川医科大学が記載されていたからという、実に不純な動機であり、面接でこの大学を志望した動機を尋ねられなかっただけのラッキーな合格でした。実際看護師になりたいと思う崇高な理由があったわけではなく、手に職をつけるために入った大学でした。自分自身の楽観的な性格もあり、「なんとかなるだろう」と思って入学しました。

しかし、そんな甘い考えは1年生の序盤でなくなりました。自身が行う看護の対象は誰か、その対象に対して看護を行うことの意義やその為に必要な手技の習得に追われる日々。答えが必要だが答えのない問いを解いているような気持ちになりました。毎日が課

題や予習・復習で忙しくなっていました。ですがその中で看護を学んでいくことに楽しさを思っている自分もいました。この4年間で私は看護の難しさと楽しさの二つの側面の全てを見ることはまだまだ出来ていませんが、少しだけ垣間見る事が出来たと思います。この4年間の思い出をもう一度振り返ると、勉学やアルバイトに励んだことや、同級生と夜中に遊んだことなど、多くの事が思い出され、高校生の時の思い描いた大学生活とは異なるものの、私の大学生活は、これはこれでもとても楽しい自身の経験となったと思います。

大学に通ううちに看護師と保健師の資格を取得する数奇な運命をたどり、来年度からはなんとか保健師として仕事をしていく予定ですが、この大学での4年間で学んだことをフルに活用し、先生方や同級生にも感謝をしつつ、社会人としての自覚を持ち、自分なりの保健師像を見つけていけるようにまい進していきたいと思います。

卒業して

看護学科第19期卒業生 星 一輝



入学してから早いことで、4年が経ち卒業を迎えることができました。大学生活は今までに経験したことがない体験や、人生の苦難にぶち当たったこともあり

りました。今となっては、良い思い出になっています。

私は女性のイメージが強い職業で、何故看護師になろうとしたのかとよく聞かれることがあります。私は将来、人の役に立てる職業に就きたいと考えていました。具体的に将来の夢を考えているときに、職業体験で看護師の体験を行ったことをきっかけに看護の道を目指そうと決めました。入学時、私は看護に対するイメージと現実の違いに戸惑い、本当に自分がやりたい職業なのか考えることもありましたが、学年が上がるにつれ、看護の専門性も深まっていくと、看護に対する興味・関心を持てるようになりました。特に、3年生から始まった領域別実習では様々な看護師や患者と接することで、自分の目指す看

護について考えるきっかけとなりました。また、患者からの感謝の言葉であったり、自分の指導によって患者の行動変容につながった経験は、看護を行っていくための活力となり、私が看護師になりたいと再確認することとなりました。

大学生活では部活やバイトで出会った先輩・同期・後輩と沢山の思い出があります。試合の遠征であったり、明け方まで語りあったりと思い出すと充実感しかありません。この思い出では私の人生の宝物となり、大切にしていきたいです。私が最高の大学生活を送ることができたのも周囲の支えがあってこそだと思います。家族や苦楽を共にした同期がいて、ここまでやってこられたと思います。私が支えられてきた分、今度は私が患者を支え、寄り添っていけるような看護師になりたいと思います。

最後に、お世話になった方々にこの場をお借りして感謝を述べたいと思います。ありがとうございました！

「赤いお守り」

看護学科第19期卒業生 堀川 ふみえ



私は二人姉妹の妹として生まれました。幼少期はいつも姉の後をついて歩いてきたため、自分から人に声を掛けるのが苦手でした。

また、姉を観察し、褒められること、怒られることを見極め、自分の不利益にならないよう行動していたような気がします。姉は高校卒業と同時に自分の夢を叶える一歩を踏み出すため札幌へ行ってしまい、私もいつしか人との関わりが欠かせない看護という道を歩みはじめました。人とうまく関わるのが苦手な私が、看護職に向いていたのかどうかはわかりません。しかし今は、向いているか向いていないかはさておき、この道に進んで良かったと思っています。

私は大学に入学してから助産師の仕事に興味をもち、4年生になるときに助産師課程を選択しました。助産師過程が始まるとなかなか遊べなくなると思い、3年生の冬期休暇に友達と島根県へ旅行に行きました。島根といえば出雲大社。出雲大社といえば縁結びの神

様。ということで、私は赤い糸的な縁結びを期待して、迷わず真っ赤な縁結びのお守りを購入しました。しかしそう簡単には叶わず…。

4年生になると看護の実習と並行して助産の授業が始まりました。助産の実習では、先生方が付きっきりで指導してくださり、マンツーマンな日々を送りました。実習中は辛すぎて何も考えられませんでした。そんな実習が終わった12月、私はふと縁結びのお守りを取り出しました。この1年間、助産の先生方や助産課程に進むことを応援してくれた友達・部活の仲間、支えてくれた両親など、この道に進んだことで既に多くの縁が結ばれていることに気づかされました。そして素敵なこの縁は、きっと、ずっと前から繋がっていて、これから先もずっと続いていくと思います。すべての縁に感謝致します。

私は、縁の結び方は自分次第で何通りにもなると考えています。これから先も様々な出会いを大切にしていきたいと思っています。皆さんにも素敵な御縁がありますように。

卒業にあたって

看護学科第19期卒業生 宮澤 あゆみ



晴れて卒業の日を迎えることができ、大変嬉しく思います。嬉しいことも楽しいことも、もちろん悩んだり苦しんだりしたこともありましたが、一つひとつ乗り

越えるたびに、また新しいことに挑戦するたびに、自分の成長を実感できるとても充実した毎日でした。先生方をはじめ、先輩、後輩、同期、実習先の看護師さんや患者様、本当に素敵な出会いに恵まれ、多くの経験をすることができた4年間だったと思います。

医療関係者に囲まれて育ち、当たり前のように医療の道へと進んだ私は、入学当初は自分のなりたい看護師像がはっきりせず、自分が本当にやりたいことはなんだろうと悩むこともありました。しかし実習で、痛みが強くほとんどベッド上で過ごしており気分も沈みがちだった患者様が、術後みるみる回復し、本来の元気さ、笑顔を取り戻し退院していく過程をお手伝いすることができました。私は人間が持つ回復力・生命力に感動し、「患者

様がその人らしく笑顔で生活するために、少しでもその人が持つ自然な回復力・生命力を引き出すお手伝いがしたい」と思うようになりました。それからの実習は、これまで以上に実りのあるものとなり、看護師として働くイメージができるようになりました。

また部活動では、女子バスケットボール部・陸上部・Med-Eduの3つを主に活動させていただきました。特に新しいことを始めたいと思い入部したMed-Eduでは、人前で話すことへの苦手意識を克服したり、言葉が持つ力の大きさを実感したりなど、新たな視点で物事を見ることができるようになりました。長年継続することも、新しいことに挑戦することも、どちらも大変ですが、先輩・後輩・同期のおかげで4年間楽しく活動することができました。

4月からは私も看護師として働き始めます。お世話になった方々に少しでも恩返ししていけるよう、そして感謝の気持ちを忘れず自分を成長させることができるように頑張っていきたいと思います。

卒業にあたって

看護学科第19期卒業生 吉田 咲妃



まだ少しの雪が残る4年前の4月、緊張した気持ちで旭川医科大学へ入学したことを昨日のように覚えています。大学入学時、同じ

高校出身者がいなかった私は、知り合いなど一人もいませんでしたが、卒業する今となっては、看護科の同期をはじめ、部活の同期や先輩、後輩などたくさん大切な人たちが周りにいます。

講義や実習での思い出はたくさんありますが、特に印象に残っているのは3年次から4年次にかけて行われた領域別実習です。受け持たせていただいた患者さんに対して、患者さんの疾患、年齢、生活背景など患者さん一人ひとりの個別性によって必要な看護を考え、実践し評価するというものですが、自分だけの力では乗り越えられないことがたくさんありました。そんな時私を助けてくれたのは、同じ実習班のメンバーや先生方、実習病棟の指導者看護師の方でした。たくさんの方の助けや、患者さんの元気になる姿、「ありがとう。」という感謝の言葉のおかげで、最

後まで諦めず実習をやり切ることができました。

入学したばかりの頃、看護師という職業は、「病院で入院している患者さんに対してお世話をする人」という漠然としたイメージしかありませんでした。しかし、大学での講義や病院実習などを通して、「看護とは何か」「看護師とは患者さんに対して何を行うのか」ということを学ぶことで、先程の漠然としたものではなく、自分なりの看護観を持つことができました。

4年間、講義や実習、部活動などで充実した学生生活を送ることができたのは、友人、先輩、後輩、先生方、患者さん、病院関係者の方々、そして両親、祖父母などたくさんの方の支えがあったからであり、感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。4月からはいよいよ看護師として社会の一員となります。旭川医科大学の卒業生として恥ずかしくないよう、4年間で学び考えた看護を実践し、一人でも多くの患者さんの支えになれるように、研鑽を続けていきたいと思えます。

平成29年度 学位記授与式

平成30年3月23日（金）10時30分から、本学体育館において平成29年度学位記授与式が行われ、医学科99名、看護学科54名、博士課程5名、修士課程7名にそれぞれ学位記が授与されました。

会場内には左右に大型スクリーンが配置され、学位記授与式の様子が投影されました。卒業生は、本学の室内合奏団の演奏がBGMで奏でられるなか入場し、その後、一人ひとり学位記を手渡され、吉田学長と固く握手を交わしました。その晴れやかな姿もまた、スクリーンを通して学生生活を共にした仲間や保護者の方々と共有することができたようです。

学位記授与に引き続き、在学期間を通じて極めて優秀な学業成績を取めた学生に授与される「学業成績優秀者表彰」が行われました。医学科 宿田夕季さん、小川弘記さん

と、看護学科 林沙耶花さん、清水朝香さんの4名が、学長から一人ひとりに木彫りの表彰楯が授与され、共に切磋琢磨した仲間やご家族、先生方から祝福されました。

さらに、今年度も「卒業生へ贈る最終講義」と題した学長挨拶が行われ、卒業生に向けた激励のメッセージが送られました。

最後に、卒業生代表として、医学科 宿田夕季さんと看護学科 林沙耶花さんから卒業生謝辞が述べられ、大学生活を振り返り、また、新社会人としての抱負を披露しました。

また、13時30分からは、本学学生食堂において祝賀会が行われ、医学科・看護学科のそれぞれの同窓会長からの祝辞をいただき、これまでお世話になった先生方やともに過ごした仲間と語り合いました。







図書館に新しい展示棚とテーブルを設置しました

旭川医科大学図書館は、平成27年4月にリニューアルし、学生・教職員の学習・教育・研究をサポートする施設として運用しています。

館内は、約8万冊の医学・看護学などの専門書や、約4千タイトルの学術雑誌が利用できるほか、本学の建学の精神である地域医療に関する図書を集めた「地域医療書コーナー」などを設置しています。

この度、図書館整備のためにと、使途を特定して旭川医科大学基金へご寄附いただいた資金により、図書館に新しい展示棚と多目的用途の組み合わせテーブルを設置いたしました。

今回新しく設置した展示棚とテーブルには、4月現在、新入生応援展示と題し、新入生の方やこの春から新生活を始める方向けの展示を行っています。

旭川医科大学基金は、これからも、教育及び研究活動の充実を図るとともに、地域医療に根ざした医療福祉のさらなる向上のため、積極的に活動を展開して参ります。何卒、末永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、平成28年度の基金活動報告書を旭川医科大学基金ホームページに掲載しています。各種支援事業による支援を受けた学生・研究者からの報告や同窓生である本学教授による座談会が掲載されていますので併せてご覧ください。



▲図書館に設置した新しい展示棚と組み合わせテーブル

旭川医科大学基金へのご支援ご協力を
お願いいたします。

詳しくは下記QRコード
より旭川医科大学基金ホ
ムページをご覧ください。



サークル紹介の1分間ミニ番組について

NHK旭川放送局より、旭川地区の大学生の活動についてミニ番組の製作を企画しているとお話があり、本学からはバドミントン部とMed-Edu Students to Students（以下、「Med-Edu」）が取材を受けました。

取材は平成30年1月16日（火）に行われ、まずは、昼休みにバドミントン部が学生食堂で昼食をとっている風景が撮影されました。TV取材とあって当初は緊張している様子も見受けられましたが、撮影は終始和やかに行われました。

講義終了後はMed-Eduの取材が行われ、出前授業キットを使った活動の様子が撮影されました。小学生でも直感的にわかる手作りキットには、NHKの取材陣もしきりに感心していたのが非常に印象的でした。

Med-Eduの後は、取材場所を体育館に移し、バドミントン部の練習風景が撮影されました。ここでは、学生食堂での和やかな雰囲気とはうってかわり、真剣にシャトルを打ち合う姿に、さすがは東医体6連覇だなと感心させられました。

これらの取材の様子は、それぞれ1分間のミニ番組として編集され、「輝け！キャンパスライフ」としてNHK旭川放送局管内で3月末から放映されました。また、4月9日（月）に行われた新入生合同研修会においても、この番組が披露されました。

NHK旭川放送局のホームページで閲覧が可能ですので、一度ご覧ください。

<http://www.nhk.or.jp/asahikawa/freshers/index.html>



卒業目前！先輩看護師と行う「看護技術学習会」を実施

卒業・就職を控えた看護学科第4学年学生が、より安心して就職することを目的として、同窓会の先輩看護師と看護技術の練習を行う「看護技術学習会」が3月9日(金)13時から基礎看護学実習室で行われました。今回は昨年に引き続き2回目の開催ということで、看護学科同窓会や旭川医科大学病院看護部のご協力のもと、この4月から看護師として勤務される予定の4年生4名が、採血、点滴静脈注射、心電図の装着、導尿の練習を行いました。参加者達は、本学の卒業生でもある5名のチューター看護師さんから、基礎看護技術のほか、患者さんへの声かけの方法、スムーズな処置の方法等、これまでの授業や実習で学んだ内容がそれぞれの現場でどのように実践されているかについて、丁寧に教えて頂きました。練習後の茶話会では、リラックスした雰囲気の中で、就職にあたり不安に感じていること、疑問に感じていることなどを相談する機会が設けられ、先輩看護師との交流を深めていました。

実習後のアンケートでは、学生から「就職してからどのような視点が必要になるのかを学ぶことができ、働いてからのイメージができた」「先輩方が親しみやすく、リラックスして参加できた」、看護師さんから「学生さんの意欲が感じられ、指導する側も楽しかった」「就職前の新人さんがどのような不安や疑問があるのか知ることができたので、参考にしたい」という感想がありました。

今回の学習会は、看護技術の習得に役立つばかりでなく、これから看護師としての第一歩を踏み出す4年生にとって、就職前の不安や悩みを解消する良い機会となったと思われます。看護学科では今後も、毎年継続して開催していきたいと考えています。



「平成29年度 保健師卒業セミナー」開催

この春から保健師として羽ばたく看護学科第4学年3名と、保健師という仕事に興味を持つ第1～3学年の学生を対象とした、平成29年度保健師卒業セミナーが3月16日（金）10時30分から看護学科棟D講義室で開催されました。本セミナーの目的は、①専門職業人として就職するための心構えを持つ、②先輩後輩、保健師志望学生のネットワークを作る、③就職に関するあらゆる不安を軽減する、④保健師活動を理解し、仕事・就職活動・学習へのモチベーションを高めることです。看護学科同窓会のご協力を得ながら毎年開催されており、本年度は卒業生9名を含め31名の参加がありました。

午前の部では、帯広保健所と士別市、幌加内町にそれぞれ内定が決まった鹿取昂平さんと齊藤愛さん、滝本祐理香さんから、保健師課程の演習・実習の流れや大変な時期を乗り越えるコツ、国家試験対策や就職活動等について報告がありました。午後の部からは、昨年4月から1年目保健師として奮闘されている本学卒業生9名も加わり、シンポジウムが行われました。富良野市、余市町、浦河保健所の各地で勤務されている3名の先輩方から、各自自治体の地域特性や保健師1年目としてどのような業務を担当したかなどの体験談をお話いただきました。

セミナー後のアンケートでは、「専攻の流れについて知ることができてよかったです。

（1年生）」、「実習や国試勉強について具体的にわかり、保健師の仕事内容や仕事をしていく上で必要な力ややりがいを学ぶことができた。（2年生）」、「卒業生の方から保健師課程のお話を聞いて具体的にイメージすることができました。早めの行動が大切だということなので、看護研究など早めに行動の意識を持とうと思った。（3年生）」、「実際に働いてみて難しいと感じたことややりがいなど、生の声を聞くことができた。去年もこのセミナーに参加したが、実習や学習を行った後に話を聞くことで、話に共感できる所があるなど、同じような事でも受け手が感じる感じが違い、毎年参加しても異なる印象を受けた。（4年生）」という感想があり、卒業生と在校生との交流を通してそれぞれに貴重な時間を過ごすことが出来たように思われます。



「平成29年度 助産師セミナー」開催

3月16日(金)13時30分から助産師の仕事に興味を持つ第1～3学年の学生を対象とした平成29年度助産師セミナーが、看護学科棟A講義室で開催されました。今回が初めての試みということで、看護学科同窓会のご協力のもと、本学を卒業された先輩助産師の方々やこの4月から助産師として勤務される予定の看護学科第4学年3名の参加がありました。

本セミナーは、①助産師の仕事について理解を深め、学習・就職活動・仕事へのモチベーションを高める、②本学で助産師免許を取得するまでのスケジュールを理解する、③本学卒業(含予定)の先輩助産師から、本学で助産師免許を取得する上での勉強・実習をスムーズに進めるためのアドバイスをもらい、本学で助産学を選択した際に役立つ、④専門職業人として就職するための学生としての心構えを持つことができる、⑤本学卒業(含予定)の先輩後輩としてのネットワークを作るきっかけとなる、を目的としています。

最初に、本学を卒業された先輩助産師の方々から、助産師を目指したきっかけや学生時代の忙しく大変な時期をどのように乗り越えたのか、助産師として働くようになって今思うことなどを実体験に基づいてお話がありました。次いで、助産学を選択した際のスケジュールについて詳しい説明を受けた後に、2グループに分かれて先輩助産師との茶話会が行われました。

セミナーに参加した学生からは、「今後のスケジュールなどが想像できたので勉強を頑張りたいと思いました」、「実際に助産師の方にお話を聞ける機会はなかなかないので、働いたらどういった経験ができるのかという話が聞けてすごく勉強になりました」、「不安な気持ちが大きかったけど、働いてから楽しいという率直な思いを聞くことができたので、自分も勉強を頑張っそう思える助産師になりたいと思いました」などの感想が聞かれました。先輩助産師からの体験談やアドバイスにより、助産師の仕事に対する理解が深まり、学習意欲が高まったのではないのでしょうか。今後も本セミナーを継続し、助産師を志す学生の支援をして行きたいと考えています。



卒業生の動向(医学科)

平成30年3月23日（金）に本学を卒業した学生の進路状況は次のとおりです。
 なお、個人情報保護法関連法律等の関係で氏名は掲載しておりません。

(学生支援課)

区 分		大学及び病院名等	平成29年度卒業生		
			男	女	計
進 学	小 計		0	0	0
就 職	道 内	本院(旭川医科大学病院)	19	17	36
		北海道大学病院	2	0	2
		その他	24	14	38
		計	45	31	76
	道 外	大学関係病院	3	1	4
		その他	11	4	15
		計	14	5	19
小 計		59	36	95	
未 定・その他			4	0	4
合 計			63	36	99

上記以外の病院名

道 内：市立旭川病院、旭川赤十字病院、旭川厚生病院、北海道医療センター、市立札幌病院、札幌厚生病院、勤医協中央病院、市立稚内病院、名寄市立総合病院、砂川市立病院、帯広厚生病院、八雲総合病院、KKR札幌医療センター、市立函館病院、五稜郭病院、北見赤十字病院、小樽市立病院、札幌徳洲会病院、札幌東徳洲会病院

道 外：筑波大学附属病院、奈良県立医科大学病院、東京都立多摩総合医療センター、横浜市立大学附属市民総合医療センター、大阪急性期・総合医療センター、埼玉協同病院、筑波メディカルセンター病院、東京新宿メディカルセンター、公益社団法人地域医療振興協会横須賀市立うわまち病院、総合病院国保旭中央病院、洛和会音羽病院、神戸労災病院、宇治徳洲会病院、湘南鎌倉病院、上尾中央総合病院、木沢記念病院、小張総合病院

卒業生の動向(看護学科)

平成30年3月23日(金)に本学を卒業した学生の進路状況は次のとおりです。
 なお、個人情報保護法関連法律等の関係で氏名は掲載しておりません。

(学生支援課)

区 分		大学及び病院名等	平成29年度卒業生			
			男	女	計	
進 学	道 内		0	0	0	
	小 計		0	0	0	
就 職	道 内	看護師	本院(旭川医科大学病院)	3	33	36
			北海道大学病院	0	3	3
			札幌厚生病院	0	2	2
			その他	0	2	2
		保健師	地方自治体	1	3	4
		助産師	本院(旭川医科大学病院)	0	1	1
			その他	0	1	1
		計		4	45	49
	道 外	看護師	大学関係病院	0	2	2
			その他	0	2	2
		保健師		0	0	0
		助産師		0	1	1
		計		0	5	5
	小 計			4	50	54
未 定・その他			0	0	0	
合 計			4	50	54	

上記以外の病院名および自治体名

- 道 内：KKR札幌医療センター、手稲溪仁会病院、慶愛病院、
 旭川市、士別市、幌加内町、十勝総合振興局(帯広保健所)
- 道 外：東京女子医大、東京都立駒込病院、横浜みなと赤十字病院、
 東京大学医科学研究所附属病院、国立精神神経医療研究センター

飲酒事故の防止について

6月8日(金)から医大祭が開催されるにあたり、普段よりも飲酒の機会が増えることと思われます。

従来から、学生団体代表者に対して、飲酒事故の防止について指導を行っていますが、部活動単位での飲み会に限らず、短時間に大量のアルコールを摂取することによる急性アルコール中毒を引き起こしたり、嘔吐物による窒息死を招いたりするような、危険な飲み方は絶対にしないでください。

また、アパート等での深夜に及ぶ騒音等により、大学に苦情が寄せられていますので、近隣住民に迷惑をかけないように、医大生としての自覚と責任を持って、節度ある行動を心がけてください。

このような行為が認められた場合は、懲戒処分(訓告、停学、退学)の対象として、大学として厳正に対処します。

教 員 の 異 動

平成30年3月31日	退職	医学部微生物学講座	教授	若 宮 伸 隆
平成30年3月31日	退職	医学部看護学講座	教授	照 井 し な
平成30年3月31日	退職	病院病理部	教授	三代川 斉 之
平成30年3月31日	退職	医学部解剖学講座(機能形態学分野)	准教授	板 東 良 雄
平成30年3月31日	退職	医学部微生物学講座	准教授	大 谷 克 城
平成30年3月31日	退職	医学部病理学講座(腫瘍病理分野)	講師	山 本 雅 大
平成30年3月31日	退職	医学部内科学講座(消化器・血液腫瘍制御内科学分野)	講師	盛 一 健太郎
平成30年3月31日	退職	病院泌尿器科	講師	安 住 誠
平成30年3月31日	退職	病院眼科	講師	川 井 基 史
平成30年3月31日	退職	病院産科婦人科	講師	西 脇 邦 彦
平成30年3月31日	退職	医学部看護学講座	講師	大 上 育 子
平成30年4月1日	昇任	医学部麻酔・蘇生学講座	准教授	神 田 浩 嗣
平成30年4月1日	昇任	医学部看護学講座	准教授	塩 川 幸 子
平成30年4月1日	昇任	医学部腎泌尿器外科学講座	講師	和 田 直 樹
平成30年4月1日	昇任	病院泌尿器科	講師	玉 木 岳
平成30年4月1日	昇任	病院歯科口腔外科	講師	小 神 順 也
平成30年4月1日	採用	医学部看護学講座	准教授	山 内 まゆみ
平成30年4月1日	採用	病院医療安全管理部	准教授	岩 田 達 也
平成30年4月1日	採用	医学部内科学講座(消化器・血液腫瘍制御内科学分野)	講師	田 邊 裕 貴
平成30年4月16日	採用	医学部解剖学講座(機能形態学分野)	准教授	金 本 聡 自

今後のスケジュール

6月8日(金)～10日(日)	医大祭
7月7日(土)	医学科第6学年 卒業時OSCE
7月1日(日)～7月29日(日)	第65回(平成30年度)北海道地区大学体育大会

7月7日(土)	陸上競技大会(入江運動公園陸上競技場)※男子のみ
〃	バドミントン大会(室蘭工業大学体育館)
7月7日(土)・8日(日)・14日(土)	硬式野球(北海道大学野球場A, 北海道大学野球場B)
7月8日(日)	剣道大会(帯広畜産大学体育館)※男子のみ
7月14日(土)・15日(日)	バレーボール大会(室蘭工業大学体育館)
7月14日(土)～16日(祝)	バスケットボール大会(旭川市総合体育館)
7月21日(土)	弓道大会(留辺蘂町弓道館及び体育館)※男子のみ

夏季休業

医学科第1学年	7月16日(月)～8月21日(火)
医学科第2学年, 医学科第3学年	7月16日(月)～8月17日(金)
医学科第4学年	7月23日(月)～8月24日(金)
医学科第5学年	7月30日(月)～8月24日(金)
医学科第6学年	7月9日(月)～8月31日(金)
看護学科第1学年	7月9日(月)～8月14日(火)
看護学科第2学年	7月9日(月)～8月17日(金)
看護学科第3学年	7月16日(月)～8月13日(月)
看護学科第4学年	7月16日(月)～8月10日(金)

第171号表紙

今月号の表紙の写真は、医学科第1学年 工藤 天裕さんから提供いただきました。

旭川市内にある大正橋から旭川駅方向を撮影した風景です。橋から眺める雄大な山々や夕日、朝日など様々な風景が楽しめるのも「川と橋のまち」といわれる旭川の魅力の1つですね。

学生支援課では、皆さんからの写真を募集しています。課外活動での様子、旅先での1枚など気軽に応募してください。ご提供いただける方は、学生支援課学生総務係までご連絡ください。